

小・中学校 授業づくりシート		学年	小I	内容項目	善悪の判断, 自律, 自由と責任
指導観	「発達の段階一覧表」を踏まえた				
	内容項目の理解	実態把握		教材の活用	
	他律的な判断をする時期であることを踏まえ、人に言われてではなく、自分で「よいと思ったこと」をした後の気持ちを考えさせていくことで「進んでよいことをしたい」という思いを持たせたい。	他律的な判断をする時期であるため、「悪いことをすると叱られるから、してはいけない」と考える児童が多いが、少しずつ自分で考えて判断することができるようになってきた。		教材は「ぼんたとかんた」を活用する。結果に注目して考える段階なので、「なかよくぶらんこにゆられています」の部分を中心に考えさせることで「よいと思ったことをすると気持ちがよくなる」ということに気付かせていきたい。	
ねらい	「よい」と思ったことができたときのすがすがしい気持ちを考える活動を通して、「よい」と思ったことを進んでしようとする道徳的心情を育てる。				
手立て	自分で考えて「よい」ことができたぼんたの、すがすがしい気持ちに気付かせるために場面ごとに発問する。				
指導の手立ての具体（想定した児童生徒の反応から目指す姿までの過程）	「ぼくも行きたい」「行ったらだめ」と迷う心情に寄り添わせる発問（場面ごとの発問）  一人になったぼんたは、どんなことを考えたのかな？ ぼくもかんたと一緒に遊びたいなあ。 どうしよう…。 「でも…」の後はどんなことを考えてるのかな。 行っってはだめって言われているのに。 行ったら怒られちゃうかもしれない。				
	ぼんたが自分で考えてできた「よいこと」って、どんなこと？ 約束を守れたこと。 かんたに「行かないよ」って大きい声で言ったこと。 迷ったけど、よく考えて決めたことだよ。 「だめだよ」って言えたこと。 迷ったけど、ちゃんと「行かない」って言えたこと。				
	よいことができたときのすがすがしさを考える児童の姿（場面ごとの発問） ぼんたはどうしてにこにこの笑顔になったのかな。 ちゃんとできたから。 「行かないよ」って言えたから。 うれしいから。 どうしてうれしくなったのかな。 いいことがちゃんとできてすっきりしたから。 かんたに「行かないよ」って伝えたら、かんたも自分で決めたから。 迷ったけど、ちゃんとだめなことはだめって言えたからうれしい。				

第1学年道徳科学習指導案

指導月日 令和〇年〇月 〇日

授業者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 よいと思ったことを進んで 「A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任」

教材名 「ぼんたとかんた」(文部科学省 私たちの道徳 1・2年)

2 指導観

(1) 内容項目の理解

本主題は、小学校学習指導要領(平成29年告示)の次の内容を受けて設定されたものである。

第3章 特別の教科 道徳 第2 内容 「善悪の判断, 自律, 自由と責任」

〔第1学年及び第2学年〕

よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編で、「人として行ってよいこと, 社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり, 判断したりする力は, 児童が幼い頃から徹底して身に付けていくべき」とされているように, 低学年段階からよいことと悪いことを正しく区別できる判断力を養っていくことが大切である。大人が決めたことが正しいと考える他律的な時期だからこそ「人として, してはならないことをしない」ことを正しく理解させる必要がある。それに加え, よいと思ったことを自分からするよさに気付かせていくことで, 少しずつ自分で「よいこと, 悪いこと」の判断ができるようにしていく。そのためには, よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちを思い起こさせるなど, 「よいことができたときは気持ちがすっきりする, だから次もよいことがしたい」という思いを持たせていくことが必要である。

(2) 実態把握

低学年の児童は「悪いことをすると叱られるから, してはいけない」「褒められるからよいことをする」と他律的な判断をする時期である。学校での生活などを通して, よいことや悪いことの区別はできるようになってきているが, まだ集団生活に慣れていないために引っ込み思案になってつい友達に流されてしまったり, よいと思ったことができなかったりする様子も見られる。

「褒められてうれしいからよいことをどんどんしよう」と考えているこの時期だからこそ, よいことができた時は褒められるだけでなく, すぐすがしい気持ちになることを想起させ, 自分でよいと思ったことを進んでする大切さに気付かせたい。

(3) 教材の活用

本教材は, 「ぼんた」が友達の「かんた」に「行ってはいけない」裏山に行こうと誘われ, 悩みながらも「行かないよ」と断るという内容である。

主観的なものの見方や考え方をする時期なので, 中心人物である「ぼんた」の心情を場面ごとに考えさせていく。裏山に行こうか迷う気持ちや, 「行かないよ」と言えた後の気持ちに寄り添わせていくことで, 「よいことができた後はすがすがしい気持ちになる」ということに気付かせていきたい。そうすることで, 「褒められるから, 叱られるから」ではなく「自分の気持ちがすっきりするからよいことをしたい」「自分で考えてよいことができるとうれしくなる」という思いまで高められると考えた。積極的に行うべきよいことと, してはならないことを判断する力を身に付けるべきこの時期に, 進んでよいと思ったことをする大切さを考えることができる, 1学年にふさわしい教材である。

3 本時の指導

(1) ねらい

「よい」と思ったことができたときのすがすがしい気持ちを考える活動を通して、「よい」と思ったことを進んでしようとする道徳的心情を育てる。

(2) 手立て＜場面ごとの発問＞（授業づくりシート参照）

自分で考えて「よい」ことができたぼんたの、すがすがしい気持ちに気付かせるために場面ごとに発問する。

(3) 指導過程（別ページ）

(4) 評価

＜児童の評価＞

○「よい」と思ったことができた時にはどのような気持ちになるか、友達の話を聞きながら考えることができていたか。（多面的・多角的）

○これまでの生活を振り返ることを通して、自分との関わりで「よいことをしたときの気持ち」を考えることができていたか。（自分との関わり）

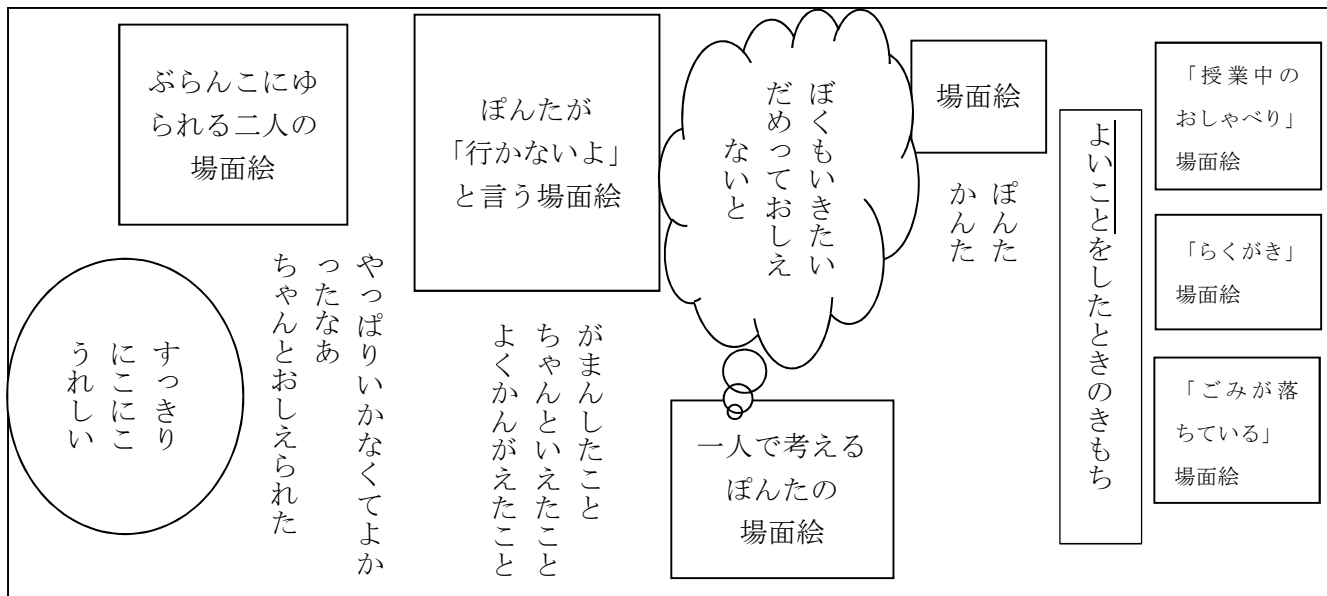
＜指導方法の工夫に対する教師の評価＞

○「よいことができたときの気持ち」を考えさせるために場面ごとに発問したことは、小学校低学年としてふさわしい手立てであったか。

(5) 準備物

教師：教科書，ワークシート，提示絵

(6) 板書計画



指導過程

段階	学習活動 ○基本発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ○評価 【 】 評価方法
導入 5分	1 学習への問題意識を持つ。 ○ごみが落ちていたらどうしますか。	・ 拾う。 ・ 拾って、ちゃんとごみ箱に捨てるよ。 ・ だってごみが落ちていたら汚いよ。 ・ 拾わないで知らんぷりすると、何だか嫌な気持ちになるよ。	・ 児童にとって身近な「よいこと」と「悪いこと」について具体的に想起させ、本時の学習の問題意識を持たせる。 ・ 「私たちの道徳」P34, 35に掲載されている「いいのかな」の場面をいくつか取り上げ、最後に「ごみが落ちているよ」を取り上げる。拾わずに、そのまま立ち去るとどのような気持ちになるか発言させながら、「拾う」などのように、自分から「よいこと」ができたときのことを考えていくというめあてを提示する。
	よいことができたときのきもち		
展開 35分	2 教材を読んで「よいと思ったことをすること」について考える。 ○かんたが裏山に行ってしまった、一人になったぼんたは、どんなことを考えたでしょうか。 ◎どうしてぼんたはにこにこの笑顔になったのでしょうか。	・ ぼくも秘密基地に行ってみたいな。 ・ どうしよう。 ・ 行っちゃだめって言われている…。 ・ 行かない方がいいよ。 ・ だめだよって、かんたに教えないと…。 ・ うれしいから。 ・ 何かすっきりしたのだと思う。 ・ ちゃんと行かないって言えて良かったなあって思っているから。 ・ 迷ったけど、行かなくて良かったと思っている。	<u>＜手立ての具体＞</u> ・ <u>自分で考えて「よい」ことができたぼんたの、すがすがしい気持ちに気付かせるために場面ごとに発問する。</u> ・ 一緒に秘密基地に行きたい気持ち、悩んでいる気持ちを考えさせることで、中心発問の「やっぱり行かなくて良かった」というすがすがしさに気付かせる。 ・ かんたが裏山に行って、ぼんたが一人になった場面絵を提示することで、ぼんたが迷う気持ちに寄り添わせる。 ・ 「行かないよ」と大声で言ったぼんたの様子も押さえさせた上で、中心発問を投げ掛ける。 ・ 「行きたい」という自分の気持ちに負けなかったことや、「よいこと」が自分からできたときのすがすがしさに気付かせる。 ○多面的・多角的 【発言、様子】

	3 自分の生活を振り返る。 ○よいことができたときはどんな気持ちになるでしょうか。	・ぼくは遊びたくて急いでも廊下は走らないよ。その方が良かったと思う。 ・いつもお母さんとの約束を守っているよ。お母さんにもこにこするから、うれしくなる。	・児童が日常で善悪の判断で迷いそうな場面を具体的に提示することで、自分が「よいこと」をできた経験を想起させていく。 ・「よいことをした時にはすがすがしい気持ちになる」という本時の学びを、自分との関わりで考えさせる。 ○自分との関わり 【ワークシート，発言】
終 末 5 分	4 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で「これからこうしていきたい」と思ったことはありますか。	・これからも、だめなことは友達にちゃんと教えてあげたいと思ったよ。	・自分の生活を振り返らせたので、今後の生活に目を向けさせていく。 ・数名に発表させ、日常生活でも今後考えていけるようにする。

よいことができたときのきもち

こんなよいことができたよ

そのときのきもち